

## 選挙関係規程の整備について

### 1 経緯

#### (1) 正副会長互選手続きについて

①会則 第16条の2(選任等)では、

「3 会長、副会長及び常務理事は理事会の互選により選定する。」と定めている。

②「理事候補者選挙の手続きに関する細則」の補足説明により、

「1.細則制定の方針

⑦会則により新理事による会長・副会長互選は理事会で行うので、選挙管理委員会は関与しない。」

③2018年6～7月の第10期理事会における正副会長選定の際の問題点

- ・選定に係る議事進行の担当者(適任者)

- ・ウェブ投票で会長互選後、副会長の互選について、過半数に満たないことから2回投票し、かつ大阪北部地震も理由とされ、会長互選から副会長互選が2週間以上遅れた。

⇒ 互選の実施手続きを明確化し、執行部不確定による会務の停滞を避けるため、迅速に互選を実施することの要請。

#### (2) 理事候補者選挙の手続きに関する細則の運用について

①正会員からの要望により、

- ・選挙人に対する情報提供として、理事候補被推薦者名簿に、専門分野等のプロフィール情報の追加記載は如何。

②理事からの要望により、

- ・正会員による理事候補者推薦に当たり、何らかの属性による区分や枠の設定如何。

### 2 課題

(1) については、理事候補者選挙手続き細則とは別に、成文化した手続き規程が必要。

(予定)

- ・正副会長互選の管理者の選任方法、正副会長互選手続きについて、1月中に案を作成する。

(2) については、1月中に、現行細則の運用あるいは改正の要否を判断する。

会員システムでは、会員登録情報の公開を本人が許諾して他の会員が閲覧できる仕組みは採れない。

(案)

- ・正会員の推薦に基づき理事候補被推薦者名簿を作成後、選挙管理委員会において名簿に「氏名」、「所属」、「専門分野」の3項目の公開項目を記載する。会員システムで自ら入力している情報を活用するが、被推薦者には名簿掲載の事前了解を得る。

- ・名簿に掲載した個人情報、正会員による理事候補者選挙以外の目的には使用しないなど個人情報保護の観点から必要な措置を講じる(名簿は会員が閲覧のみできるようにする)。

### 3 スケジュール

- ・2019年12月26日 対面理事会(東京)。

- ・2020年1月〇日～ 電子メール理事会。執行部より選管設置を付議。

- ・2020年2月28日 対面理事会(大阪)。